

## 令和5年 第2回宇都宮市教育委員会会議録

- 1 日時 令和5年2月14日(火) 開始時刻 午前9時00分～
- 2 場所 宇都宮市役所13階 教育委員室
- 3 出席者 小堀教育長, 檜山委員, 小野委員, 亀山委員
- 4 説明員 梓澤教育次長, 口川学校教育担当次長, 坂井教育企画課長, 板倉総務担当主幹, 吉岡学校管理課長, 小栗学校教育課長, 川島GIGAスクール推進担当主幹, 宇賀神学校健康課長, 鈴木生涯学習課長, 今井宮っ子ステーション担当主幹, 赤石澤中央図書館長, 山口文化課長, 今平文化財活用推進担当主幹, 岡田スポーツ振興課長, 金子教育センター所長
- 5 書記 古内課長補佐, 篠崎総務担当副主幹, 高久係長, 田代係長, 佐藤総括
- 6 傍聴者 2名
- 7 議題

### (1) 審議事項

- 議案第2号 教育委員会に係る議会の議決を経るべき事件の意見の提出について
- 議案第3号 令和5年度教育委員会の組織について
- 議案第4号 「第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」の策定について
- 議案第5号 令和4年度宇都宮市民遺産(みや遺産)の認定について
- 議案第6号 「宇都宮市学校デジタル化推進基本計画」の策定について

### (2) 報告事項

- 報告第5号 令和4年度教育委員会主要事業の進行管理について
- 報告第6号 教育行政相談の内容と対応について
- 報告第7号 令和4年度「宮っ子心の教育表彰」教育委員会賞について
- 報告第8号 「うつのみや学校マネジメントシステム」全体アンケートの令和4年度結果概要について
- 報告第9号 「宇都宮市学校健康教育推進計画」の改訂について
- 報告第10号 令和4年度本市児童生徒の体力について
- 報告第11号 子どもの家の2期目の指定管理者選定に係る募集内容等について
- 報告第12号 「令和5年度宇都宮市教職員研修計画」の策定について

### (3) その他

- (1) 隣接校との通学区域弾力化等による令和5年度入学者の募集結果について
- (2) 教育委員会だより第24号について
- (3) 第64回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会の結果について

## 8 議事の内容

事務局	定刻となったが、会議の開催に先立ち連絡事項がある。 本日も、新型コロナウイルス感染症防止のため、発言は着席で行うなど、対策を講じて会議を開催するので、ご協力をお願いします。
教育長	ただいまから、第2回宇都宮市教育委員会を開会する。 本日の会議録署名委員は、小野委員、亀山委員をお願いします。
教育長	本日は大森委員が欠席になる。
教育長	次に、第1回の会議録についてご意見などあるか。 (特になし、全員了承)
教育長	会議録を承認する。  それでは、第1回会議録は檜山委員、小野委員に署名をお願いします。 (会議録の署名)
教育長	議案第2号、議案第3号は「意思形成過程にあるもの」、報告第6号は「個人情報が含まれているもの」、報告第12号は「公開することにより事務事業の公正若しくは適切な遂行を困難にするもの」であるため、非公開としてよろしいか。 (全員賛成)
教育長	全員賛成なので、これについては非公開とする。
教育長	それでは審議事項に入る。 議案第4号「『第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画』の策定について」、説明願う。
生涯学習課長	<b>【説明要旨】</b> ○ 平成30年3月に策定した「第3次宇都宮市地域教育推進計画」の中間見直しを行い、新たに「第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」を策定するもの。 ○ 前期計画からの体系等の見直し ・ 令和4年度に終了する「第2次読書活動推進計画」については、さらなる読書活動の推進に向けて、地域教育において一体的に事業に取り組んでいくこととし、本計画に統合した。 ・ 市民が学習や活動を行う環境について、施設のハード面だけでなく、学習・活動機会の充実、情報提供・相談機能の強化などを図るため、新たに「基本目標4」に環境づくりを位置付けた。 ・ 社会的課題が多様化・複雑化する中、情報、観光、福祉分野などの学習に関する事業を新たに位置付けたほか、まちづくり、男女共同参画など、これまで連携していた分野についても、関係課と共に企画・実施する新たな事業を創出し、さらなる取組の充実を図っていく。

- 後期計画の特徴
  - ・ デジタルの活用により、現代社会に応じた学び、交流を展開し、障がい者や外国人など誰もが学びに参加できる、ともに学べる環境づくりを目指す
  - ・ 子どもも大人も自ら学び豊かな人間性を培う読書活動を推進し、市民が様々な課題を主体的に解決する能力の向上を図るとともに、課題解決のサポート体制の充実を目指す。
  - ・ 大学や企業等と連記した多様な講座を展開し、市民のスキルアップやキャリアアップを促すとともに、様々な活動や就労へとつなげる人材育成を目指す。

教育長

説明は以上だが、質疑などはあるか。

小野委員

基本目標1施策1について、これは電子図書館の内容なのか、それとも図書館レベルでの電子書籍の活用ということなのか、予定があれば教えてほしい。

生涯学習課長

学習意欲の向上に資する取組の推進の中で、電子書籍を含めた学習の機会として、記載している。直接図書館に関する事業というよりは、学習の機会の一部として位置付けている。

小野委員

図書館に関わる様々な取組は現在も行われていると思うが、後期計画の中でどのように進めようとしているのか、道筋を教えてほしい。

生涯学習課長

基本目標の4に、基盤の整備として、レファレンスをはじめとする相談機能や、調べることに係る機能強化をハード面も含めて位置付けている。また、自分で課題を解決する人づくりを主体に置いており、図書館の持つ、ハード面と人材などのソフト面の両方を活用しながら、それが生涯学習の一つの人づくりにつながるような形で、これまでの講座などと連携しながら一体的に推進していきたいと考えている。

小野委員

電子書籍の活用にとどまらず、電子図書館というところまで実現するとなると、まだ内容的には薄いと思うが、予算を入れて実験は始まっていると思うので、基本計画に入れるというよりは、事務局で道筋を立てて、見直しを続けていただき、委員にもフィードバックしていただきたい。

檜山委員

計画の本体資料の注釈に商標が記載されているのが、大丈夫か。

生涯学習課長

速やかに確認する。

教育長

それでは、議案第1号を決定してよろしいか。

(全員了承)

教育長

議案第1号を決定する。

教育長

議案第5号「令和4年度宇都宮市民遺産（みや遺産）の認定について」、説明願う。

**【説明要旨】**

文化財活用推進担当主幹

- 令和4年9月末までに応募のあった宇都宮市民遺産候補について、2回の宇都宮市民遺産会議の意見聴取を経て、「宇都宮市民遺産認定事業実施要綱」に基づき、宇都宮市民遺産として認定するもの。
- 認定基準
  - ・ 地域の愛着・親しみ

- ・ 歴史文化資源の価値
- ・ 活動の内容
- 認定審査案件（5件認定）
  - ・ 海道町天棚
  - ・ 旧上戸祭村の伝統行事
  - ・ 東大堀の伝統行事「辻切り」
  - ・ 仁良塚の彫刻屋台
  - ・ 岡本城跡

教育長  
小野委員

説明は以上だが、質疑などはあるか。

説明で5件とも認定にふさわしいことはわかった。過去3年間の認定一覧を見ると累計が18件になると思うが、3年やってみて、この件数が当初の想定通りなのか、少ないのか、これからどのように推移させていきたいのか、教えてほしい。

文化財活用推進担当主幹

令和2年度が9件、令和3年度が4件、今年度が5件ということで、当時の想定としては4、5件が続くと考えていた。また、宮（みや）に合わせて38件を目標としていた。今後については、2、3件みや遺産に認定したいという地区の動きも話を聞いているため、そういった地区も含め、まだまだみや遺産の周知が足りない部分があるので、広報紙等を通じて周知し、増やしていきたいと考えている。

亀山委員

総合評価のところで、「地域住民の絆づくり」が目標とされているところが多いと感じた。応募件数が今年度は5件ということだが、これまで応募したものの、認定基準を満たさなかったものというものはあるのか。

文化財活用推進担当主幹

初年度に10件応募があり、1件だけ基準を満たさなかったものがあった。それに関してはみや遺産制度というのは、地域の思いを汲み取ろうとする制度であるので、認定を外すことを考えているわけではない。基準を満たさなかった1件については、次の年に応募していただくにあたり、団体にはこちらから申請についてアドバイスをしており、令和3年度に認定している。

亀山委員  
教育長

認定基準を公にして、より周知した方がよいのではないかと思います。

それでは、議案第5号を決定してよろしいか。

（全員了承）

教育長

議案第5号を決定する。

教育長

議案第6号「『宇都宮市学校デジタル化推進基本計画』について」、説明願う。

教育センター所長

**【説明要旨】**

○ 1人1台端末の本格的な運用を開始し、授業内外における端末の活用を推進していくにあたり、デジタル・シティズンシップを身に付けていく必要があること、1人1台端末とクラウドの更なる有効活用と、デジタル教科書やC B Tなどの教育のデジタルトランスフォーメーションの実現に向けた取組を推進する必要があることから、「宇都宮市学校デジタル化推進基本計画」を策定するもの。

○ 特徴

- ・ 自律した情報の使い手を育む教育の充実
- ・ 急速に高度情報化する社会に対応した学校環境整備
- ・ 教育デジタルトランスフォーメーションの計画的な推進

教育長	説明は以上だが、質疑などはあるか。
小野委員	「街の先生」について詳しく教えてほしい。
学校教育課長	「街の先生」は各学校が地域の教育人材を集めて宇都宮市にデータとして登録してあるものになる。既に4千人ほどの方が登録されており、それぞれ専門分野を持っており、各学校がデータバンクを利用して、授業を行ったり、教育活動を行ったりしている。
小野委員	もともと名簿登録しているものがあり、デジタル化に対応するために作ったものではないが、それをデジタル化にも活用していこうとするものとして理解してほしいか。
学校教育課長	そうである。
小野委員	デジタル化に関する「街の先生」の活用事例があれば教えていただきたい。
学校教育課長	個々の事例までは把握していないが、ICT関係に長けた方が「街の先生」として登録されている。
小野委員	「街の先生」とICT支援員の業務がぶつからないよう、すみ分けされているのか。
教育センター所長	ICT支援員は主に端末の設定を中心に、さらに授業の中に入って子どもたちに端末操作の支援等をしている。操作の支援については、一部重なる部分もあるが、操作の方法やアプリの活用の仕方等の大きな部分については支援員が教員に情報提供している。与えられた情報をもとに、個々の授業の支援をお願いしたいときには、街の先生に来てもらいお手伝いをしていただいている。
小野委員	よくわかった。そうすると先生方は、ICT支援員がいるために、街の先生の活用にまで頭がいかないということもあるかもしれない。街の先生の活用はいろいろな可能性を持っており、幅広いところをカバーできるようになると思うので、重点施策にはなっていないが、活用できるよう、よく周知していただきたい。
榎山委員	「ラーニングアナリティクス」について説明してほしい。
GIGAスクール推進担当主幹	注釈はついていないが、子どもの学習データを集めて、それを授業者自身が分析して、子どもに還元する仕組みとと考えていただきたい。実際に現在学校で使用しているソフトウェアの中に、「協働学習ソフト」というのがあり、それを上手く使うと、一人の発言に対して周りが反応し、それを全体に返すということを授業者ができる仕組みもあり、そのような取組を今後段階的に取り入れていきたいところである。
小野委員	ビッグデータを活用して、学校の先生自身の指導についてフィードバックするもののイメージがあったが、どちらかという、一人ひとりのお子さんに還元していくような印象を受けた。そのあたりについてはどうか。
GIGAスクール推進担当主幹	どちらかという、子どもに返していくのが主であると考えている。
教育長	それでは、議案第6号を決定してよろしいか。 (全員了承)
教育長	議案第6号を決定する。

教育長

次に、報告事項に入る。

報告第5号「令和4年度教育委員会主要事業の進行管理について」、説明願う。

総務担当主幹

**【説明要旨】**

主な内容については以下の通り

- 教育企画課
  - ◆ 人づくりフォーラムの効果的な開催  
12月4日に「宮っ子ジョブタウン」及び「体験のコーナー」を実施、1月から人づくり講演動画の配信を開始
  - ◆ 幼小連携合同研修の試行的実施  
「第2次学校教育推進計画」に幼保小の連携強化を重点事業として位置付け、幼小連携合同研修会の試行的実施に向け、効果的・効率的な内容等について検証を実施
- 学校管理課
  - ◆ 校舎・体育館の計画的な長寿命化  
8月から星が丘中学校校舎長寿命化改修工事（～R6.9月まで）、平石中央小学校体育館長寿命化改修工事（R5.2月まで）を実施
  - ◆ 小学校体育館への空調機器の設置  
9月からすべての小学校で供用開始
  - ◆ 校舎・体育館トイレ改修工事の円滑な実施  
学校トイレの洋式化率：67.4%（R5.3月末予定）
- 学校教育課
  - ◆ 全児童生徒の学びの保障に向けた授業内外における端末の活用  
8月に協働学習ツールの機能を強化。GIGAスクール構想推進に係る、関係課長等会議及び校長会の意見交換を実施。
  - ◆ 教員の英語指導力向上とALTを活用した取組の推進  
10月に小学生・中学生を対象にしたオンライン英会話を開催
  - ◆ 教職員人事管理システムの円滑な運用  
異動懇談会資料の作成や教職員評価の実施等に活用
  - ◆ 保護者との新たな連絡ツールの導入  
10月から「さくら連絡網」の全校利用開始
  - ◆ 第2次学校教育推進計画後期計画の策定
- 学校健康課
  - ◆ 全給食施設への空調機器の導入  
1月より順次設置工事を実施（R5.6月まで）
  - ◆ 「宇都宮市学校健康教育推進計画」に基づく、体力・保健・食育・安全の各分野の着実な推進及び4つの分野の一体的な推進  
「元気っ子チャレンジ冬休み版」の実施、「第17回うつのみや食育フェア」の実施、休日の部活動地域移行に係る意見交換会作業部会の開催
- 生涯学習課
  - ◆ 「第3次宇都宮市地域教育推進計画」の事業実績と時代の潮流を踏まえた計画の改定

- ◆ 子どもの家の安定した施設運営の確保に向けた指定管理者への適切な指導・監督の実施
  - 10月に市・法人・地域による意見交換会を実施，12月に電子申請システムを活用した利用者アンケートを実施
- ◆ 子どもの家2期目の指定管理者選定に向けた準備
  - 1月に2期目の指定管理方針案に係る意見を専門委員から聴取
- 文化課
  - ◆ HP・VR等を活用した歴史文化の普及啓発
    - 8月に宇都宮学研修を実施，12月に宇都宮城VR体験付き文化財めぐりを実施
  - ◆ 日本遺産魅力発信事業の推進
    - 大谷石文化連続講座の実施，「大谷石文化」ガイド中級講座の実施
  - ◆ 大谷地域の重要文化的景観選定に向けた取組
    - 8月と11月に文化的景観保存活用計画検討委員会を開催
  - ◆ 百人一首市民大会及び蓮生記念全国競技かるた宇都宮大会の開催（11月）
- スポーツ振興課
  - ◆ スポーツ振興財団の参画によるクラブ創設促進
    - 8月～12月にかけてスポーツ振興財団，スポーツ協会との意見交換を実施
  - ◆ 北西部地域への体育施設整備推進
    - 12月から用地測量の実施（R5.3月まで）
- 教育センター
  - ◆ 特別支援学級等担当教員の指導力及び学級経営力向上への対応
    - 9月に教育支援委員会を開催，12月に就学相談説明を開催，1月に就学相談者の就学先を決定，通級指導教室担当者研修を実施
  - ◆ 児童生徒の状況に合わせた不登校支援の充実
    - 10月に上半期長期欠席に関する実態調査を実施，11月に別室の活用に係るアンケートを実施
  - ◆ 若手教員に対する授業力や学級経営力の強化を図る研修の実施
    - 9月から初任研訪問指導等における若手・中堅教員等の現状及び学校のニーズの把握の実施
    - 10月から授業実践力養成サポート事業実施状況把握及び指導・助言を実施

教育長  
小野委員

説明は以上だが，質疑などはあるか。

第2次アクションプランの中に，教職員の出退勤管理があるが，どのような傾向があるか教えてほしい。

学校教育課長

時間外在校等時間は徐々に減少傾向にある。ただ，コロナから回復させようとしている時期なので，その点では教員の負担感が高い状況である。1年を通してみると，学年末・始は時間外在校等時間が長く，夏休みはほとんど無い状況である。小・中で比較すると，小学校の方が時間外在校等時間は少なく，中学校の方が長い傾向がある。部活動の指導などによるものと考えている。

小野委員  
学校教育課長

出退勤管理はこれまでは行っていなかったのか。

教職員の出退勤管理については，平成30年から実施している。

檜山委員	学校トイレの洋式化について、本年度末までの予定の達成率が記載されているが、最終的には100%にしていくのか、確認したい。
学校管理課長	校舎内・体育館については、今年度策定した「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」の中に、令和9年度末に100%ということで位置付けている。外のトイレ等については、今後検討していく。
亀山委員	子どもの家の指定管理者への移行にあたり、第1回目の情報交換会があったとき、課題が多く出た。今回の情報交換会ではどのような意見がでたか教えてほしい。
生涯学習課長	詳細な意見について、具体的な内容は差し控えさせていただくが、今回行ったのは、旧推進委員と指定管理者と支援員で行ったものであり、その中では、2年が過ぎて上手く運営ができているという意見がほとんどであった。今後の更新にあたっては、改善すべきところは改善し、良いところは伸ばしていきたいと考えている。
亀山委員	情報交換会は毎年1回行う予定ではあるのか。
生涯学習課長	1期目である3年間については継続して行うことを考えており、2期目以降については今後検討する。
教育長	それでは、報告第5号を承認してよろしいか。
	(全員了承)
教育長	報告第5号を承認する。
教育長	報告第7号「令和4年度『宮っ子心の教育表彰』教育委員会賞について」、説明願う。
	<b>【説明要旨】</b>
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校第6学年及び中学校第3学年の児童生徒を対象（各校1名）とし、「宮っ子の誓い」の趣旨を踏まえ、5つの表彰要件のうち1つ以上で秀でた行動を実践している児童生徒を表彰するもの。</li> <li>○ 2月7日に行われた「宇都宮市教育委員会児童生徒表彰委員会」において表彰候補者を審査し、今年度の表彰者を決定した。</li> <li>○ 「夢を抱いてやりぬく心を持った児童生徒」の要件に該当する児童生徒がこれまでで最も多かった。令和2、3年度はコロナの影響で減少したが、今年度増加した理由としては、各学校が目標に挑戦する機会を設けるなど取り組んだ成果が考えられる。</li> </ul>
教育長	説明は以上だが、質疑などはあるか。
小野委員	表彰要件②の「よわい人をいたわる心」の言葉が気になる。「よわい人」というのを断定しているように感じられる。「弱っている人」や「苦しんでいる人」などの方が状況を表していて、「いたわる」にも合うように思う。質問されたときに、きちんと答えられればよいが、場合によっては実施要領自体も検討してほしい。
学校教育課長	「よわい」とひらがなで書いているところで、多義的であることを示唆しているという説明もできるが、これは「宮っ子の誓い」に基づいて定められた表彰要件である。学校においては「誰に対しても分け隔てなく接している」や「困っている人に手を差し伸べる」「下級生に対して優しく教えてあげる」などの行動につ

いて該当すると理解していただいたうえで、候補者を推薦いただいているものと考えている。

教育長 それでは、報告第7号を承認してよろしいか。  
(全員了承)

教育長 報告第7号を承認する。

教育長 報告第8号『『うつのみや学校マネジメントシステム』全体アンケートの令和4年度結果概要について』、説明願う。

**【説明要旨】**

学校教育課長 ○ 各学校が諸計画に基づき実施した教育の成果を評価し、教育活動の充実と学校経営の改善を図るため、平成20年度から導入している市共通のシステム  
○ 令和4年10月から12月までの間、全教職員・児童生徒・保護者、任意の地域住民に対して行った全体アンケートの結果概要について報告する。  
(R4回答者：61, 341人)  
○ 今年度より、原則Webでの回答とした。(地域住民には紙媒体も併用)

教育長 説明は以上だが、質疑などはあるか。

小野委員 質問項目のうち、「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる」の項目で教職員、児童生徒と保護者とで肯定的回答割合に差があるのが気になる。子どもたちからはきちんとやっていると思われることが、保護者からそう思われていないことについて、何か理由があるのか。

学校教育課長 学校に保護者が来る回数が減っているところであり、学校としてはHP等を活用して、いじめ対策基本方針などの周知に努めているところであるが、まだまだ広報が足りない部分がある。一方でこの結果はもっとやって欲しいという声であると理解しているので、広報とともに、取組の充実を図っていきたいと考えている。

小野委員 発信の部分は難しいと思うので、その通りであると思う。一方で、教職員の方々も、今の自身の取組が必要十分なものであるかを考えながらアンケートに回答していただければと思う。アンケートの肯定的回答割合の差が縮まるよう今後も努力していただきたい。

亀山委員 先程、保護者が学校に来る回数が減っているという話があったが、質問を見ると、学校に来ないとわからない内容が多くあるように思う。児童生徒、保護者というように、回答者の属性で分けてしまうと、必ずしも回答しきれない部分ができてしまうように思うので、質問について検討してほしい。また「児童生徒は、宇都宮の良さを知っている」の質問について、大人でも知らないことが多いので、どのようにして子どもたちが知ることができるようにしているのか教えていただきたい。あと、地域住民の肯定的回答が90%以上ということだが、学校に行く機会が無いために、わからない質問項目があるということと、学校を少しでもよく見せられるよう考えているということ地域の方々から少し聞いた。このことについて何か考えていることがあれば教えていただきたい。

学校教育課長 保護者や地域の方々にとってわかりづらい質問項目があるのではないかという指摘については、他からもいただいております。来年度のマネジメントシステムでは

一部改善をしたいと考えている。わかりにくい原因としては、コロナ禍において、学校に来ていただく回数が減ったことにあると思う。来年度については、今以上に回数が増えるように努めていきたい。宇都宮の良さについては、児童生徒の肯定的回答割合が増えていることに注目している。本市では宇都宮学に取り組んでいるところであり、宇都宮について学ぶ中で、少しずつ宇都宮が良いところであるという意識が芽生えつつあるものと考えている。宇都宮学が始まって以来、この項目については数値が順調に伸びているところである。まだ保護者まで啓発されていないところではあるが、引き続き、特に児童生徒の数値について見ていきたいと考えている。地域の方々にとって質問がわかりづらいという点については、校庭のそばを通っただけでわかるような質問を増やすなど、質問項目を改善すると同時に、学校のことをよく知っていただく機会を工夫したいと考えている。数値を上げることもそうだが、学校を知っていただくことが大切であると考えているので、機会の充実に取り組んでいきたい。また、若干回答者数が減っているのので、その増加にも努めてまいりたい。

檜山委員

「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」について、部活動の負担によって小中学校で差があるのではないかと思う。今後、部活動を担当している先生と担当していない先生とで比較・検討する予定はあるのか。

学校教育課長

働き方改革に係る第2次アクションプランが現在も継続して行われているところであるが、一部改訂しようと考えているところである。それにあたり、管理職のみならず部活動を担当している先生からも、広く意見を聞き、より効果的な方法がないか探っていきたいと考えている。

教育長

それでは、報告第8号を承認してよろしいか。

(全員了承)

教育長

報告第8号を承認する。

教育長

報告第9号「『宇都宮市学校健康教育推進計画』の改訂について」、説明願う。

**【説明要旨】**

学校健康課長

- 「宇都宮市学校健康教育推進計画」について、中間年度を迎えたことから、これまでの取組を評価し、より着実に推進するために見直しを行い、改訂したことから、報告するもの。
- 見直した点
  - ・ これまでの取組を評価し、課題と今後強化すべき事項を洗い出したうえで、計画の最終年度までの5年間で新たに取組む事業や重点・拡充して取組む事業を整理した。
- 特徴
  - ・ 「体力の向上」、「学校保健の推進」、「食育の推進」、「学校安全の推進」の4つの分野の一体的な推進
  - ・ 1人1台端末などのデジタルの活用とSDGsの視点を踏まえたカリキュラムマネジメントの確立
  - ・ 家庭・地域等との連携強化

教育長	説明は以上だが、質疑などはあるか。
小野委員	体力の向上について、小6は目標値に対し、達成率が低い状況であり、「やや遅れ」と表現されているが、今回の改訂では、目標値は見直していないのか。
学校健康課長	目標値については見直していない。コロナの影響で体力については、全国的な落ち込みの状況と同様に本市でも落ちこんでおり、コロナリカバリーとして力を入れて取り組んでいきたい。
小野委員	目標値の変更については検討したのか。
学校健康課長	検討した上で、経年変化を見るために変更しなかった。
小野委員	あと5年期間があるので、その期間を活用して、すべての項目で目標が達成できるよう取り組んでいただきたい。
教育長	それでは、報告第9号を承認してよろしいか。
	(全員了承)
教育長	報告第9号を承認する。
教育長	報告第10号「令和4年度本市児童生徒の体力について」、説明願う。
学校健康課長	<p><b>【説明要旨】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和4年度「元気っ子健康体力チェック」における新体力テスト結果の全国、県との比較について報告するもの</li> <li>○ 小学校5年生について、男子は「反復横とび」において、女子は「上体おこし」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「ソフトボール投げ」において、全国平均値を上回り、総合的な体力水準を示す「体力合計点」は、男子は全国平均値を下回り、女子は上回った。</li> <li>○ 中学校2年生は、男子は「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」において、女子は「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」「ハンドボール投げ」において、全国平均値を上回り、総合的な体力水準を示す「体力合計点」は、男女ともに全国平均値を上回った。</li> <li>○ 全国における小学5年、中学2年の体力は、平成30年度以降、連続して前年度の値を下回っており、本市もその傾向があることから、今後、コロナ禍等の影響により減少傾向にあった運動機会の創出や、「うつのみや元気っ子チャレンジ特別版」の実施に取り組んでいく。</li> </ul>
教育長	説明は以上だが、質疑などはあるか。
小野委員	コロナの影響については、中学校では部活動による差があるのに比べ、小学校の男女ではそこまで影響に差がでるものではないと思う。その中でも男子の方が全国平均より下回っている項目が多いことの原因について考えているものはあるか。
学校健康課長	原因については、定かなものはない。運動能力が高い学年とそうではない学年はある。ただし底辺の底上げということで、冬休みに「うつのみや元気っ子チャレンジ特別版」として1人1台端末を活用した取組等も始めているところであり、今後積み重ねて体力の向上に努めていきたい。
小野委員	全国的なデータ等もこれから出てくると思うので、コロナによって男子と女子でどのように生活習慣が変わったかなどをよく見ていただいて、コロナ・リカバ

<p>檜山委員 学校健康課長</p>	<p>リープランに生かして進めていただきたい。 小中ともに体力の合計点が女子の方が高いのはなぜか。 女子の方が成長が早いと言われている。また、男子の方が家での遊びが増えたということも聞いている。それらの影響は立証されていないが、考えられる要因ではあると思う。</p>
<p>教育長</p>	<p>本市では女子の方が比較的結果が高い傾向にある。また、男子と女子では点数の基準が異なっており、運動種目ごとに試行回数等の数値が同じでも、女子の方が高く点数が出る。</p>
<p>檜山委員 学校健康課長 教育長</p>	<p>点数の基準が是正されることはあるのか。 全国で経年でデータを取っているものになるので難しいと思う。 それでは、報告第10号を承認してよろしいか。</p>
<p>教育長</p>	<p>(全員了承) 報告第10号を承認する。</p>
<p>教育長</p>	<p>報告12号「『令和5年度宇都宮市教職員研修計画』の策定について」、説明願う。</p>
<p>教育センター所長</p>	<p><b>【説明要旨】</b></p> <p>○ 「教育公務員特例法」に基づき、県が策定した「栃木県教員育成指標」を踏まえ、教職員が自ら専門性を高め、誇りを持って研修に打ち込むことができるよう、令和4年度の取組と今後の課題を踏まえた「令和5年度宇都宮市教職員研修計画」を策定する。</p> <p>○ 令和5年度の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学び続ける教職員を支える研修機会の充実</li> <li>・ 日常的なOJT、校内研修等の充実</li> <li>・ 学校における働き方改革の推進</li> </ul>
<p>教育長 檜山委員 教育センター所長</p>	<p>説明は以上だが、質疑などはあるか。 研修の回数や選び方について表の見方を教えてほしい。 初任者研修は国で定められている期間として15回実施するものであり、県でまとめて実施するものと本市独自に行うものとで合わせて15回になる。その中に含まれる項目を○で示している。</p>
<p>教育長 教育センター所長</p>	<p>回数と日数は大体同じか。 そうである。</p>
<p>檜山委員 教育センター所長 教育長</p>	<p>初任者の時に15日分の時間をとるのは難しいと思うが。 初任者指導の教員がおり、出張等に出た際には、クラスの対応をする。 それでは、報告第12号を承認してよろしいか。</p>
<p>教育長</p>	<p>(全員了承) 報告第12号を承認する。</p>
<p>教育長</p>	<p>次に「その他」の案件になるが、その他の案件については、資料提供のみであるので、後ほどご覧いただきたい。</p>

**【公開できる案件の終了】**

教育長

これからの議案は非公開の案件であるため、傍聴者等の退席をお願いします。

**【傍聴者の退席，非公開審議の開始】**

- 議案第 2 号 教育委員会に係る議会の議決を経るべき事件の意見の提出について  
⇒ 決定
- 議案第 3 号 令和 5 年度教育委員会の組織について  
⇒ 決定
- 報告第 6 号 教育行政相談の内容と対応について  
⇒ 承認
- 報告第 1 1 号 子どもの家の 2 期目の指定管理者選定に係る募集内容等について  
⇒ 承認

**【非公開審議の終了】**

教育長

その他委員の皆様から何かご意見などあるか。  
(特になし)

次に，事務局から連絡事項をお願いします。

事務局

連絡事項説明（教育企画課長補佐）

- このあとの予定について  
このあと，連絡事項を行う。
- 今後の会議等の日程について
  - ・ 3月 7日（火） 午前 8時30分～ 臨時会
  - ・ 3月20日（月） 午後 1時30分～ 定例会
  - ・ 3月24日（金） 午後 4時00分～ 総合教育会議

教育長

以上をもって，本日の委員会を閉会とする。

終了時刻 11時45分

署名委員

\_\_\_\_\_

署名委員

\_\_\_\_\_